

# 98項目の予算要望を酒井市長に提出

日本共産党市議団は11月16日、市議選などで公約し、議会でも繰り返し取り上げてきた事項について市への予算要望を行いました。また、12月議会でも質問しました。学校給食の無償化、補聴器の購入補助、未就学児の国保料無料化、移動支援の充実、非核平和都市宣言などについて、予算化や検討していく方向で答弁がありました。



## 未就学児の国保料均等割は 無くすことを決断したい

国民健康保険は、均等割で子どもが増えれば保険料が上がる仕組みになっています。少子化対策や子育て支援に反するものであり、均等割を無くすことについて、市長としてどのように進めていくのか質問しました。市長は、18才までとなると相

当な財政負担を伴

うので段階的に進めてまいりたい。来年度は、先ず未就学児の部分について実施できるように国保運営協議会に諮問したので答申を踏まえて決断していきたいと答弁しました。

## 市としての非核都市宣言 前向きに判断したい

党市議は9月議会で、長崎で行われた原水爆禁止世界大会に参加し、市民が原爆投下に今も恐怖を感じていることを紹介。世界で核兵器禁止条約が広がり、批准国は68か国になり、署名国が93か国になったことを指摘。市として非核都市宣言を行う予定はないのかと質問。市長は、市が平和都市宣言を行い平和首長会議にも加盟していることを紹介し、「前向きに判断したい」と答えました。



## 補聴器購入補助制度は先行自治体に 劣らない制度にしたい

党市議の質問に、酒井市長は「補助対象者は、都の補助金を活用するため、65歳以上の方を基本として検討している。補助額は対象者の購入費や負担感、財政状況を勘案しながら、先行自治体に見劣りしない制度設計にしたい」とし、担当部長は「アフターフォローは、認定補聴器専門店と連携し、出張聴器相談会やセミナーの開催、補聴器の調整についての周知啓発を検討している。(収入の少ない人への)補聴器の現物支給は引き続き情報収集が必要」と答えました。



## 移動支援の報酬単価ひきあげ 利用範囲拡大と

党市議 障がい者後援会主催の障害者団体からの要請で毎年求められています。利用範囲の拡大は市長公約にも掲げられており早急に検討してほしい。また報酬引き上げて、人材を確保すべきですがいかがでしょうか？

市長 利用範囲の拡充については、来年度予算の中で取り組んでいきたいと考え、検討しています。報酬単価の引き上げについても現在近隣自治体の聞き取りをしており、来年度の予算編成の中で検討します。



## まずは小学校で実現めざす

コロナ禍に続く物価高騰によって、日々の暮らしは厳しいものとなっています。小中学校の給食費の無償化を早期に実現すべきです。

酒井市長は、「保護者の経済的負担を軽減することで、保護者や子どもたちの希望と安心のため、まずは小学校の給食費の無償化の実現を目指す」と答弁しました。

## 党議員は「令和6年4月から無償化すべき」と要望

党市議は、無償化となって食材の質を下げってしまうことはないのかと質問。

酒井市長は「極力早い段階に実現を目指していきたい。食材の質については、物価高騰などの状況を注視し、栄養バランスの取れた給食を続けていく」と答弁しました。

党市議はさらに中学校の無償化も大切、国と都に積極的に要望し、道を切り開いていくべきと要望しました。



学校給食の無償化

## 日本共産党 市議団ニュース

ホームページ <http://yuiuidori.net/jcptachikawa/>



2024年1月・2月

〒190-8666 立川市泉町1156-9  
電話/FAX 042(523)2661

詳しくは立川市議会の動画をご覧ください▶

お気軽にご相談下さい!

E-mail: [jcptachikawa@gmail.com](mailto:jcptachikawa@gmail.com)



浅川 修一  
042-522-8606  
柴崎町1-18-25



上条 彰一  
090-8463-0297  
柴町4-45-35



若木 さなえ  
042-560-9557  
西砂町6-55-7



中町 さとし  
042-526-3252  
羽衣町2-29-11



永元 きょう子  
042-537-7661  
若葉町1-12-4